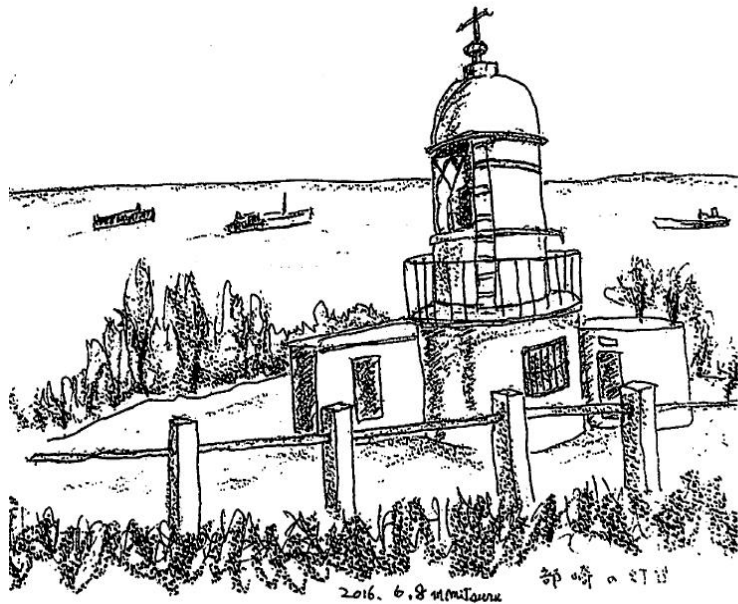


週報2022年11月20日



2022年教会標語聖句

起きよ。光を放て。あなたの光が来て、
主の栄光があなたの上に輝いているからだ。

イザヤ書60章1節

シオン教会信仰指標～人生が変わる！御言葉の光に照らされて～

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX...4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2022年11月20日

ピアノ：赤松姉 オルガン：力丸勝子師

司会：吉田兄 献身の祈り：小城兄 メッセージ：山崎銀次郎牧師

開会の祈り		司会者
信仰告白	使徒信条・標語聖句唱和	
賛美	新聖歌 376「如何に汚れたる」	
祈 禱	* 今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！*	
賛美	新聖歌 190「静けき祈りの」	
献身の祈り		小城兄
賛美	新聖歌 437「行きて告げよあまねく」	
賛美	コーラス 27「あなただけがわれらの神」	
聖書箇所	創世記 19章 29節	
メッセージ	「ロトの救出の背景」	
祈 禱	「応答の祈り」	
頌 栄	「主の祈り」	
祈 禱		山崎師

交わりの三省

- *互いに愛し合っていますか
- *互いに赦し合っていますか
- *互いに祈り合っていますか

説教要約

創世記 19 章 29 節

「ロトの救出の背景」

今日の箇所から投げかけられる質問は“一体神は何を壊したのか？”です。字義的通り読みますと、ソドムの町です。子供の頃からこの話を聞き続けていますが、とても怖い箇所です。しかしこの箇所は明らかに後半が大切です。つまり「神はロトをその破壊の中からのがれさせた。」が重要です。この意味を掘り下げて行く時に、自ずと最初の質問の答えが見えてきます。

この「破壊」と言う言葉の原語を辿ってみますと、「ひっくりかえす」と言う意味があります。そして、ここで壊された対象は人ではなくソドムという町です。(19章は特にこの事が強調されています) そうしたことを考える時に、神が“そっくりひっくりかえしたかったもの”を考えると答えに近づく事が出来ます。答えを言いますと、“人間の欲望による命の搾取から、神の憐れみによって生きる人生”です。神の目的は破壊ではなく(慈愛による)再生です。

ソドムの町の人々はロトのもとに訪れた御使いに暴行を働こうとします。又ロトもその場を収める方法として自分の娘を町の人々に差し出そうとしています。命が軽視され、人権の搾取や支配がソドムの町で横行していました。神はそのような、人が同じ人間の尊厳を壊す世界から、神の慈しみと愛によって生かされる世界にロトを導いたのです。これが「神はロトをその破壊の中からのがれさせせた」の意味です。

次の質問は“何故ロトは助け出されたのか”です。実際、ロトの過ちはアブラハムと行動を別にしてソドムの町へ向かった所から始まっています。和解や和平よりも自分の欲望を満たす事を最優先し続けました。情状酌量の余地なし。本来これがロトに下る判決です。しかし聖書は大切な一文を残しています。「神はアブラハムを覚えておられた」これが次の質問の鍵、答えです。

聖書を線で読む時に、“神はアブラハムの何を覚えていたのか？”の

答えが出て来ます。それは“アブラハムの執り成しの祈り”です。創世記 18 章 20 節からアブラハムが神にソドムの町の人々の為に憐れみを乞うというシーンがあります。ここで大切な事は、**数字よりもアブラハムの心です**。アブラハムは 12 章から始まった信仰の旅路で憐れみを学びました。人間の過ちを覆う神の憐れみです。それが彼の旅の“支え”でした。ですから、神が覚えていたのは“**アブラハムが神と共に歩む人生の中で学んだ憐れみの心**”です。

今日の話の結論として、執り成しの祈りとは=神の憐れみを追い求める事です。言い換えるとアブラハムは自分が知った神の心、“憐れみ”によって隣人ロトの魂を“憐れんだ”と言う事です。その結果、ロトは“破壊の中から逃れる事ができた”(憐れみを受けた)のです。

工場勤務の時の話です。一度、後輩を思いっきり叱った事があります。それは機械を丁寧に扱わず、足で蹴り工具で叩いた時でした。機械をぞんざいに扱った事だけを怒ったのではありません。「これくらい大丈夫」という考えで、複雑骨折や取り返しのつかない大怪我した人の話を聞いてきたからです。聖書の話に戻りますが、聖書は人が絶対に超えてはいけないラインを引いています。それは自分と隣人の命を粗末にすることです。そこに神は裁きを置きます。

ひっくり返して言うと、神は必ず人を憐れみで覆うと言う事です。つまり憐れみの無い人生は無いと言う事です。「私はあなたの事が高価で尊い」これが先週から続く神様からのメッセージです。私達は一方的な神の憐れみによって救われました。これが自己中心から愛を中心とした人生へと変えられる秘訣です。隣人を愛する為には自分に向けられる憐れみを知る必要があります。

アブラハムの優れた点は神の心を反映した所にあります。超えてはいけないラインを踏み外しそうになる度に、神に心を向きなおし、愛と慈しみを学びました。私達も愛の無さを嘆き失望する時があります。しかし、神の憐れみの手はいつも私達に向けられています。それを知る度、憐れみを必要とするどこかの誰かの為に祈りの手を伸ばす事が出来るように変えられます。主の憐れみに心を向けて前進して参りましょう。